



Close up だて

— 伊達産野菜のPRに 全力投球 —

観光物産館農産物販売協議会

会長 ^{みとべ まさよし} 三戸部 昌幸さん
(萩原町)

伊達市観光物産館

住所 松ヶ枝町34-1
(総合公園だて歴史の杜南第1駐車場内)
開館時間 午前9時～午後6時
休館日 12月31日～1月5日

軽トラ朝市

開催日 5月～10月 第3日曜日
時間 午前8時30分～9時30分
場所 市観光物産館前

詳しくは10ページをご覧ください



館内の様子

「地産地消」の言葉どおり、地元の新鮮野菜をまず市民の皆さんに食べてほしいです」と話してくださるのは、4月1日オープンの新・観光物産館で伊達産野菜を直売する生産者66戸で設立された「観光物産館農産物販売協議会」会長の三戸部昌幸さんです。

三戸部さんは先祖代々農業を営む家柄で、現在地域の農家を代表し農業の普及推進の先頭に立つ市農業委員も務めています。

昨年まで3年間、伊達の「旬」を届けるイベント『だて軽トラ日曜朝市』にも出店、同実行委員会副会長として、レタスやキャベツなど自慢の新鮮野菜の対面販売に自ら汗を流しました。

そして今回、同協議会設立に合わせて会長に就任、さらに大所帯

になった加盟農家にはもう一段上のサービスを求めています。

「種類が豊富で『野菜のデパート』とも言える伊達の農業。何より商品の品質管理に万全を期します。温度・湿度管理はもちろん、農薬使用も最低限に控えたものを提供します。また、加盟農家の方には、生産者ならではの新しい野菜の食べ方をどんどんPRしてもらいたいです」と三戸部さんは力強く話します。

また、商品には生産者の顔写真だけでなく、野菜に対する「こだわり」を掲示する予定で着々と準備が進んでいます。

「安心安全な野菜を提供したい」一貫して常に消費者を意識した三戸部さんの思いが、形となって新観光物産館に登場します。



人のうごき

～平成24年2月末日現在～

※（ ）は前月比

人	男	17,133人	(-22人)
	女	19,360人	(-17人)
	計	36,493人	(-39人)
世帯		17,780世帯	(-19世帯)

楽画記

■今回4月号は市制施行40周年記念号!ちなみに僕の年齢も現在40歳で、わが町伊達の歩みを周近に見てきたはずの世代…。でも3～4ページの写真に写り込んだ風景には驚愕するばかり!でも、僕ら市職員の大先輩、当時の保健師の方の写真、モデルばりの笑顔にもっと驚愕!!(じ)

■昭和47年4月1日は伊達市のお誕生日です。私がこの世に生まれる〇年前。この機会に昔の写真を掘り出すと、記憶の隅にある今はもうない建物や風景を発見、懐かしさと同時に寂しさも感じられました。市制施行40周年。皆さんもこの機会に昔へタイムスリップしてみませんか。(よ)

■あれから40年(きみ〇ろ)。まだ私が生まれる前の伊達市の深い深い歴史に触れた1ヵ月でした。今月でまた広報紙読者に戻りますが、充実した時間を過ごせて皆さんに感謝です!先月号楽画記の誤解が解けていないのは心残りですが…お世話になりました。ありがとうございました!(み)